

Vol. 4

# あんしん News

## 柏市食品衛生協会

発行：柏市食品衛生協会  
所在地：柏市柏下65-1 ウェルネス柏3F(柏保健所内)

配布先：柏市食品衛生協会会員

ホームページアドレス：<http://www3.plala.or.jp/kasiwa-shokkyou>

私たちが初めて体験した暑い夏が、ようやく終わりました。東北大震災後から続いている異常気象による風水害と原発や経済の低迷による政治混乱に気を取られている内に、今年も後半に突入しました。寒い季節を目前にして、会員の皆様はご多忙な毎日のことと存じます。今年度も半期を過ぎましたので、当協会の今日までの活動経過を報告いたします。

### 平成25年度 活動報告 (経過)

- ◆春の会員一斉検便  
一般会員 1175 名  
組合員 2635 名 の検体を受付ました。

#### ◆食品衛生責任者養成講習会

5月28日	火	マリアチャペルマリベール柏	286名 受講
7月23日	火	マリアチャペルマリベール柏	141名 受講
11月12日	火	マリアチャペルマリベール柏	10/1 受付開始
H26年3月7日	金	マリアチャペルマリベール柏	H26/2/1 受付開始

- ◆柏まつり巡回指導 7/27(土)・28(日)  
両日猛暑の中、保健所と食品衛生指導員が約170店舗の衛生管理指導を行いました。



異常な暑さの中で行った食中毒予防パレード

- ◆食中毒予防パレード 8/1(木)  
保健所と事務局にて柏市内を広報車で巡回し、食中毒予防を呼びかけました。

- ◆食品衛生指導員県外研修 10/7(月)・8(火)  
第3回東北視察支援の研修が行われました。今回は、津波と原発という二重の災害を受けた南相馬市を視察しました。

柏まつり巡回指導



### 平成25年度 食中毒発生状況 (速報)

\*7月4日現在

発生日	発生場所	喫食者数	患者数	原因施設	原因食品	病因物質
4/7	松戸	26	15	仕出し屋	寿司	サポウイルス
4/7	印旛	13	9	飲食店	当該施設が提供した食事	カンピロバクター <b>×</b>
4/11	夷隅	6	6	飲食店	当該施設が提供した食事	サルモネラ属菌
4/12	山武	7	1	家庭	家庭での食事	カンピロバクター <b>×</b>
5/6	柏市	23	10	飲食店	当該施設が提供した食事	カンピロバクター <b>×</b>
5/12	船橋市	13	5	飲食店	当該施設が提供した食事	カンピロバクター <b>×</b>
5/18	安房	53	31	旅館	当該施設が提供した食事	A群ロタウイルス
5/25	千葉市	2	1	魚介類販売	調査中	アニサキス
5/31	柏市	29	12	飲食店	当該施設が提供した食事	カンピロバクター <b>×</b>

計9件(患者数90人) **×** はカンピロバクターが原因の食中毒事故

**カンピロバクターによる食中毒事故が増えています!!**

カンピロバクター食中毒は、最近になって発生件数が増え、注目されています。カンピロバクターは、ふだん鶏や牛などの腸に棲み、食品や飲料水を通して感染します。少量の菌量でも発症するので、大規模な食中毒になりやすいことから、学校給食や修学旅行などで集団感染もみられます。柏市で起きたカンピロバクターが原因の2件の食中毒事故も、10名以上の患者を出しました。どちらの店舗も、当協会の賠償共済にはご加入されておりませんでした。その後、片方の店舗は今回の食中毒事故を教訓に、総合食品賠償共済「あんしんフード君」にご加入されました。

#### \*食中毒事故を起こすと

多額の損害賠償金が掛かります!! ~ 共済金の目安



	医療費	付添費	慰謝料	休業損害
入院治療	実費 (要領収書)	実費 (又は4,000円)	10,000円/日	6,000円/日
通院治療		2,000円/日	5,500円/日	6,000円/日
自宅療養		なし	5,000円/1人	6,000円/1人

#### \*被害者へ損害賠償金を払えば終わり?

- NO
- ・被害状況を確認するために、被害者を訪問する場合、手ぶらでは行けません。
- ・被害にあったお客様からは、「払った料金返せ!」と訴えられます。
- ・ノロウイルスの場合、感染拡大防止のため、施設の消毒を指導されます。

#### \*この経費って、損害賠償金に含まれて、共済金で支払われる?

従来の「食品営業賠償共済」では支払われません。  
総合食品賠償共済「あんしんフード君」であれば、支払われます。

冬場に向けてノロウイルス対策をしていますか?

詳しくは 柏市食品衛生協会へ ☎04-7167-0488

# がんばって東北！！（第3弾） 南相馬市から土湯温泉視察支援の旅

復興状況を視察研修 平成25年10月7日～8日



H23.6.11 水没した田園地帯(小高区)

観光ボランティアガイドさんに震災時の状況と原発10・20・30km圏内の現状を聴きました。



H25.2.12 水没していた田園地帯(左写真参照)  
(資料：福島県警察本部ホームページ 検索状況)

今年度の県外指導員研修は、東北支援の旅でした。東北大震災後6ヶ月目に第1弾の研修を実施し、翌年2弾、今年は3弾目の現地研修となりました。毎回、被災状況を目の当りにして、その悲惨さに驚きましたが、今回は、さらに失ったものの大きさに失望感さえ感じました。どのように未来に向けて努力をしたら、元の福島に、日本に返る事ができるのでしょうか？

南相馬市は、福島原発を設置し、地方自治体としては財政豊かな行政が行われてきたようです。原子力発電所がある海岸線から2.5kmほどは埋立てが行われ、広い田園地帯になっています。

この埋立て田園地帯が津波に被災しています。埋立地であることもあり、地盤沈下し、上記の福島県警本部のホームページの掲載写真を見ると、被災後は、水没しています。今年の2月には水が引き地表が見えていますが、夏の間には草に覆われてしまいました。塩分によって作物の栽培は、無理でしょうし、致命的には放射能の被害があります。

放射能のために被害復興作業も行われず、車なども放置され、錆びついていました。福島県警のホームページ上の報告では、被害に対する一斉捜査が行われていますが、亡くなった方の捜査は、放射能被災地ということで十分に行なわれていないようです。

人に係わる被災状況については、ボランティアガイドさんの口も堅くなり、行政から情報提供については規制がかかっているようでした。きっと、津波だけの被害についてであれば多くを話し、支援を要請されることでしょうが、放射能の問題が政府や自治体、東京電力を含んで大きく被さっているのだらうと推測しました。地域の住民の皆さんの苦勞が計り知れないと感じられました。



原発10km・20km圏内の家々は、どんなに素敵な家でも住人がいません。雨漏りを防ぐ青テントが屋根や壁を覆っていますが、家内はカビなどで汚れていることでしょう。町は、通行する車輛のために信号だけが作動していました。

## 住人のいない村 飯舘村

飯舘村の概要をホームページで調べると、単なる農村とは違い、積極的な村づくりが行われていたことがうかがえます。

村の人口は、平成23年3月1日現在で6132人、世帯数は1716戸。村役場があり、村長を選出し、村民から組織した村議会によって村行政を審議し、誰もが長く住みたくする村づくりをめざしたようです。

大震災による放射能災害により、村の人たちは、仮設住宅に移り、住民のいない村になっています。汚染された田畑は、作物が栽培できず荒れていきそうです。住人のいない家屋には、農機具が放置されている様子も見えました。

このような状況は、どのようにしたら元に戻ることができるのでしょうか？本当に、自然を安全な状態に復元できるのか疑問が残りました。



## 観光客を取り戻せ！！ 土湯温泉郷



研修の宿泊地は、土湯温泉郷にある山水荘でした。特産品はこけしですから、町のいろいろな所に大きなこけしが立っていました。山水荘で飾られているたくさんなこけしを町で見たいと思いましたが、それらしいお土産品店が見つかりません。

散策中に「二代目 浅之助」という看板の家を見つけ、覗き込みましたが、こけし作りの様子がありません。諦めて、高台にある展望台で温泉郷の全景を見ていると、「二代目 浅之助」におられた女性が、犬をつれて登ってこられました。もう、こけしは作っておられないのかと尋ねたら、二代目が亡くなったこと、息子さんがこけしを作るつもりでいるが、今は勤めていることを話されました。

観光客が減ってしまい、こけしを買い求める人もいないのでしょうか？ 伝統的なこけし作りが行われていなくて残念でした。

山水荘の玄関で総合写真を撮パチリ。研修参加者は36名でしたが、写真は、35名。お一人はお土産を買っていて、残念でした。当地で買い物をして、少しでも経済を支援することも研修旅行の目的でした。



町の案内をする大きなこけし。この橋に記載されている川の名称は荒川。東京湾に注ぐ荒川ではなさそう…？

